



# 和泉 これからの「アイ・あいロビー」を考える ボランティア・市民活動センター25周年記念



「アイ・あいロビー」が25周年を迎えることができたことは、和泉市をはじめ関係機関のご理解とご支援、そして何よりもボランティアセンターとしての役割にご理解・ご協力をいただいた多くのボランティアの方々のおかげと厚く御礼申し上げます。これからもさらに市民活動が活発になるようご協力をお願いします。

「アイ・あいロビー」設立25周年記念事業  
実行委員会 委員長 芦田 三雄



表彰状・感謝状を受けられたみなさま

## 記念講演 「アイ・あいロビー」で市民が果たしてきた役割



1998年の設立当時を振り返りながら、様々な変遷を経て現在に至るボランティア活動についてお話していただきました。

そして、受け身的な地域福祉活動を市民が選択し決定する活動に進めていくことが重要であり、会場の参加者にも「学び、伝え、変えていく」様、行動して欲しいとエールをくださいました。

上野谷 加代子 氏 (同志社大学名誉教授・日本医療大学教授)

## 会場のみなさまからもたくさんのメッセージをいただきました！

- ・ボランティアの輪が広がり仲間が助け合い、より良いまちへと発展していくことを願います。
- ・先輩方が努力を積み重ねて、続けてこられたことを心から感謝します。
- ・今までの歩みを含めて市民の力で運営されていることに感動しました。
- ・継続は「力」なりですね。力を入れすぎず30周年を迎えていただければと思います。

- ・何事も長く続けることは大変ですが、これからももっともっと和泉市が元気になりますように。
- ・「アイ・あいロビー」の名前を知っていてもくわしくは知りませんでした。和泉市のボランティア・市民活動の核になっている大切な場所だと知りました。
- ・いつも温かい対応のスタッフに感謝です。
- ・これからも「アイ・あいロビー」の活動にすこしでも参加していきたい。



## パネルディスカッション これからの「アイ・あいロビー」に期待すること



物事を始めるときの熱量は大きいですが、続けているとどうしてもマンネリ化してきます。新しいコトや新しい人の意見にフタをせず、関係をつないでいくことが大切です。伝統が重みとなることもあるだろうが、1日・1年・10年と積み重ねていくことです。

コーディネーター  
久 隆浩氏（近畿大学総合社会学部教授）



NPO 法人を立ち上げて 20 年経ったが、この仕事だけで続けられるとは思ってもよらなかった。ボランティア活動を継続するには、担い手が減少していく中で続けられる事業が必要になります。ボランティアを発しつつ自分と同世代に向けての新しい取り組みを進めていきたい。

パネラー  
湯川 まゆみ氏（NPO 法人 SEIN 代表理事）



交流サロンの年間開催数を増やしたりアムゼ広場など利用することで「アイ・あいロビー」を知らない人たちにも発信していけたらと思います。他の市町村や若い人たちへのアピールが可能になると思います。

パネラー  
嶋田 久美氏（音愛心（おとめぐろ）代表）

大学ボランティア・スタッフは 100 人いるが、参加者が少ない。自分の周りでは「アイ・あいロビー」の知名度が低い。小学生たちの放課後にも利用できるように開館時間を延長していただければ、ボランティア・スタッフと子どもたちのつながりも生まれると思います。

パネラー  
竹本 さくら氏（桃山学院大学社会学部社会福祉学科4回生）



「アイ・あいロビー」からの発信として、これからの未来を担う小中学生とのつながりを作っていくことが必要。アイデアコンテストの内容を吸収して地域へ発信したい。活動拠点を現在のところ（和泉中央）以外に、南部地域や北部地域などに設けて、市民同士のつながりを広げていきたい。

パネラー  
芦田 三雄氏（「アイ・あいロビー」運営委員長）



これからも、みなさんが気軽に立ち寄れる場になるよう、ボランティアの基本「人の役に立ちたい」という思いを大切にしつつ、変化を恐れず新しいことにも挑戦していきたいと思います。

「アイ・あいロビー」設立 25 周年記念事業実行委員会 実行委員一同

